

みやぎの豊かな環境 次の世代へ

宮城県は2011年度から「みやぎ環境税」を導入し、「脱炭素社会の推進」「森林の保全および機能強化」「気候変動の影響への適応」「生物多様性、自然・海洋環境の保全」「地域循環共生圏形成のための人材の充実」などの事業に取り組む方々の支援や、県主体の事業などを実施しています。「みやぎ環境税」を活用した事業の一部を紹介します。



試験で収穫されたアカモク

日本周辺の海水温は近年上昇傾向にあり、宮城県の水産物は「サケ」「アサギ」「アサギ」の稚魚のへい死が原因とみられる事象に見舞われている。こうした環境に適応できる新たな養殖種を確保するため、県は2019年度から「海水温上昇に対応した持続的養殖探索事業」に乗り出している。事業の一つが、国内3位の水揚げを誇る主力養殖品種のホタテで、稚魚を採取して育てる「地種養殖」を行う生産者の育成。目の育成に必要なカゴなどの資材を貸与している。

ホタテの地種増産へ

技術普及や資材貸与で生産者を支援

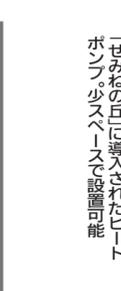
ホタテ養殖は県外から稚魚を購入する「半成員養殖」が主流だが、数年前から稚魚の大量へい死が問題となつてきている。海水温上昇が原因の一つとみられ、地域の環境に合った地種養殖を広めることで、安定した収穫量を維持するのが狙いだ。



ホタテの分散作業を行う佐藤さん

ホタテ養殖は県外から稚魚を購入する「半成員養殖」が主流だが、数年前から稚魚の大量へい死が問題となつてきている。海水温上昇が原因の一つとみられ、地域の環境に合った地種養殖を広めることで、安定した収穫量を維持するのが狙いだ。

海水温上昇に対応した持続的養殖探索事業



せみの丘に導入されたヒートポンプ、少スペースで設置可能

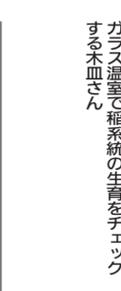
地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)の排出量増大。CO₂削減のため、宮城県は太陽光、風力、水力といった再生可能エネルギーを活用し、地域にあるエネルギーを有効活用した事例として注目を集める。同施設は、年間を通して一定の温度が保たれる井戸水と温泉を熱源に使う「地中熱利用設備」を2021年2月に導入し、光熱費とCO₂排出量の大幅削減を目指している。

CO₂も光熱費も削減

ヒートポンプで地中熱有効活用

施設は、年間を通して一定の温度が保たれる井戸水と温泉を熱源に使う「地中熱利用設備」を2021年2月に導入し、光熱費とCO₂排出量の大幅削減を目指している。

みやぎ二酸化炭素排出削減支援事業



ガラス温室で稲系統の生育をチェックする木皿さん

地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)の排出量増大。CO₂削減のため、宮城県は太陽光、風力、水力といった再生可能エネルギーを活用し、地域にあるエネルギーを有効活用した事例として注目を集める。同施設は、年間を通して一定の温度が保たれる井戸水と温泉を熱源に使う「地中熱利用設備」を2021年2月に導入し、光熱費とCO₂排出量の大幅削減を目指している。

白未熟粒大幅減狙う

高温登熟性も耐冷性も追求

地球温暖化が進む夏の暑さが厳しさを増す中、水稲栽培で全国的な問題となつてきているのが「白未熟粒」と呼ばれる米粒の白濁だ。出穂後の登熟期、高温にさらされることで粒内部分でんぷんが蓄積不足になつて発酵の系統の中から、これまでに高温登熟性に強い系統を選抜。出穂期を迎える8月上旬以降、試験栽培するガラス温室を夜間も28度以上に保つ試験場などを行い、白未熟粒の発生が少なく系統を絞り込んできた。

温暖化に対応した高温に強いイネづくり開発普及推進事業



高温登熟性に強い系統のコメ。右は弱く、粒の一部が白濁している

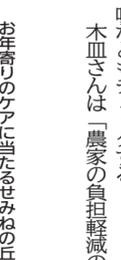
地球温暖化が進む夏の暑さが厳しさを増す中、水稲栽培で全国的な問題となつてきているのが「白未熟粒」と呼ばれる米粒の白濁だ。出穂後の登熟期、高温にさらされることで粒内部分でんぷんが蓄積不足になつて発酵の系統の中から、これまでに高温登熟性に強い系統を選抜。出穂期を迎える8月上旬以降、試験栽培するガラス温室を夜間も28度以上に保つ試験場などを行い、白未熟粒の発生が少なく系統を絞り込んできた。



左が高温登熟性に強い系統のコメ。右は弱く、粒の一部が白濁している

栽培に手間がかからないことも選抜の基準の一つ。しっかりと見極めて、5年以内の品種登録を目指す」と目標を定める。

みやぎ二酸化炭素排出削減支援事業



せみの丘に導入されたヒートポンプ、少スペースで設置可能

地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)の排出量増大。CO₂削減のため、宮城県は太陽光、風力、水力といった再生可能エネルギーを活用し、地域にあるエネルギーを有効活用した事例として注目を集める。同施設は、年間を通して一定の温度が保たれる井戸水と温泉を熱源に使う「地中熱利用設備」を2021年2月に導入し、光熱費とCO₂排出量の大幅削減を目指している。

白未熟粒大幅減狙う

高温登熟性も耐冷性も追求

地球温暖化が進む夏の暑さが厳しさを増す中、水稲栽培で全国的な問題となつてきているのが「白未熟粒」と呼ばれる米粒の白濁だ。出穂後の登熟期、高温にさらされることで粒内部分でんぷんが蓄積不足になつて発酵の系統の中から、これまでに高温登熟性に強い系統を選抜。出穂期を迎える8月上旬以降、試験栽培するガラス温室を夜間も28度以上に保つ試験場などを行い、白未熟粒の発生が少なく系統を絞り込んできた。

温暖化に対応した高温に強いイネづくり開発普及推進事業



高温登熟性に強い系統のコメ。右は弱く、粒の一部が白濁している

地球温暖化が進む夏の暑さが厳しさを増す中、水稲栽培で全国的な問題となつてきているのが「白未熟粒」と呼ばれる米粒の白濁だ。出穂後の登熟期、高温にさらされることで粒内部分でんぷんが蓄積不足になつて発酵の系統の中から、これまでに高温登熟性に強い系統を選抜。出穂期を迎える8月上旬以降、試験栽培するガラス温室を夜間も28度以上に保つ試験場などを行い、白未熟粒の発生が少なく系統を絞り込んできた。

■企画 / 宮城県広報課 ■問い合わせ / 宮城県水産業基盤整備課022(211)2943 宮城県環境政策課022(211)2664 宮城県農業振興課022(211)2837

県からのお知らせ

※各記事の詳細内容は各記事の問い合わせ先へご確認ください。

宮城県職員採用試験

【民間企業等職務経験者(大学卒業程度)】

- 職種・採用予定者数/土木・2人程度
- 受験資格/昭和37年4月2日以降に生まれた方、かつ、直近7年間に5年以上、土木工事の積算などの職務経験を有する方
- 申込期間/～8月20日(金)(消印有効)
- 第1次試験日/9月19日(日)

【短期大学卒業程度】

- 職種・採用予定者数/①学校事務・10人程度②警察事務・10人程度③建築・1人程度
- 申込期間/8月6日(金)～27日(金)(消印有効)
- 第1次試験日/9月26日(日)

【高等学校卒業程度】

- 職種・採用予定者数/①一般事務・25人程度②学校事務・10人程度③警察事務・10人程度④総合土木・10人程度⑤水産・1人程度⑥林業・2人程度⑦電気・2人程度⑧機械・2人程度
- 申込期間/8月6日(金)～27日(金)(消印有効)
- 第1次試験日/9月26日(日)

宮城県職員採用選考査

- 職種・採用予定者数/職業訓練指導員・(建築、広告美術、自動車整備)各1人程度
- 待遇/給与は県規定による
- 第1次審査日/9月26日(日)
- 採用予定日/令和4年4月以降
- 人事課 ☎022(211)2227

行政書士試験

- 試験日/11月14日(日)
- 試験会場/TKPガーデンシティ仙台、東北福祉大学ステーションキャンパス(仙台市青葉区)
- 受験料・申込期間/7千円・8月27日(金)までに願書を郵送(消印有効)により下記センター、または8月24日(火)午後5時までにホームページから申し込み
- 願書/8月27日(金)まで下記センターなどで配布、または8月20日(金)までに郵送で下記センターへ請求
- 請求先/〒252-0299 日本郵便株式会社相模原郵便局留 一般財団法人行政書士試験研究センター試験課
- 市町村課 ☎022(211)2333

地域防災のお悩み 何でもご相談!

県は、「自主防災組織を立ち上げたい」「地域の防災活動を活性化させたい」など、地域防災に関するさまざまなお悩みにお応えするメール相談「よろず地域防災相談」を開設しています。

相談をメールで受け付け、防災士が内容を確認した上でアドバイスを行います。

日頃から防災意識を高め、住民同士の協力体制を構築しておくことが、災害から地域を守ることに繋がります。まずはお気軽にご相談ください。

●防災推進課 ☎022(211)2464
Eメール bosait@pref.miyagi.lg.jp

令和3年度「宮城県ストップ温暖化」候補者募集

- 対象/県内における地球温暖化対策に資する取り組み(家庭やオフィスでの省エネ活動、製品・技術の開発、再生可能エネルギーの先進的活用、地球温暖化対策の普及啓発活動など)
- 募集期間/9月30日(木)まで
- 環境政策課 ☎022(211)2661

中途失業者・離職者のための初めての手話教室

手話を身に付けてコミュニケーションの幅を広げたいと思っている中途失業者、離職者のための手話教室を開催します。

- 日時/9月2日(木)～令和4年1月13日(木)のうちの9日(木)、午前10時～正午
- 場所/宮城県聴覚障害者情報センター
- 定員/16名程度(先着順)
- 費用/無料
- 申し込み/申込書を郵送、Eメールまたはファクシミリにより下記へ(申込書はホームページまたは下記へご請求ください)
- 宮城県聴覚障害者情報センター(みみサポート) ☎022(393)5501 FAX022(393)5502 Eメール info@mimisupporto-miyagi.org
- 障害福祉課 ☎022(211)2541

宮城県農業大学校「令和4年度推薦入校生の募集」

農業大学校では、将来、県内で農業を職業としたい、農業法人で働いてみたいといった意欲を持った方を対象に、推薦入校試験を実施します。

- 募集学部・定員/①水田経営学部・15人②園芸学部・15人③畜産学部・15人④アグリビジネス学部・10人
- 募集人数/学部定員55人の8割程度
- 修学期間/2年間
- 募集期間/9月1日(水)～15日(水)
- 試験日/10月1日(金)
- 地域推薦制度の新設/これまで実施してきた高等専門学校に加え、既卒者などを対象に、市町村長や農協組合長などが推薦
- 農業大学校 教務部 ☎022(383)8139

期限間近! PCB廃棄物の処分期限が迫っています。

ポリ塩化ビフェニル(PCB)は油状の物質であり、電気機器の絶縁油や熱交換器の熱媒体などに使用されてきましたが、健康被害などが発生したことにより、昭和47年以降PCBを使用した製品の新たな製造が禁止されています。現在保管されているPCB廃棄物には処分期限が定められており、所定の手続きをとって廃棄・処分しなければなりません。

種類	高濃度 PCB 廃棄物 (①可燃性(不燃性)PCB濃度が10%以上 かつ②PCB濃度が0.5%以上)	低濃度 PCB 廃棄物 (PCB濃度が左記以下 かつ③0.5ppm以下)
処分期限	①変圧器・コンデンサーなど 令和4年3月31日まで ②照明器具の安定器など 令和5年3月31日まで	令和9年3月31日まで
処分場所	中間貯蔵・環境安全事業株式会社(UESCO) 北海道処理事業所(室蘭市)	無害処理認定施設または 都道府県知事等許可施設

※期限までに処理委託を行わない場合は、命令・罰則の対象となります。

代表的なPCB使用電気機器

- ①変圧器・コンデンサー
- ②照明器具の安定器
- ③変圧器・コンデンサー
- ④照明器具の安定器

●古い工場やビルには、PCBが含まれている安定器や変圧器・コンデンサーなどが残っている場合がありますので、建物所有者の方は確認してください。

●電気機器に触れると感電の恐れがありますので、必ず電気主任技術者などが確認してください。

●県と仙台市では現在、事業用建物の所有者などを対象に、PCB含有安定器の有無などに関する調査を実施しています。アンケートへの回答や、担当者訪問時の対応にご協力をお願いします。

●PCB含有機器の判別方法や処分などについては、環境省ホームページ内「ポリ塩化ビフェニル(PCB)早期処理情報サイト」をご確認ください。

(問い合わせ先)

仙台市以外 環境循環型社会推進課 ☎022(211)2463、各保健所環境廃棄物班
仙台市 仙台市事業ごみ減量課 ☎022(214)8235